

発行：チボリ国際里親の会事務局編集部
 事務局：〒110-0016 東京都台東区台東1丁目25-16 大熊ビル205
 TEL.03-3835-1545 FAX.03-3835-1546 IPTEL.050-1371-1541
 URL：http://www.jofpa.org E-mail：jofpa-tokyo@jofpa.org

チボリ国際里親の会会報 2011.11.25
 Japan Overseas Foster Parent Association

発行年4回（2月、5月、8月、11月）

- 1 ……サンタ・クルス・ミッション学校法人50周年記念
- 2 ……理事会報告
プレゼントにいかがですか？
- 3 ……「2013年（H25）あり方委員会」
- 4 ……会員のひろば
文化の日 パザーに参加して
- 5 ……JOFFPA支援の成果と今後への提言
- 6 ……事務局からのおたより

学校に行けないフィリピンの少数民族(チボリ族)の子どもたちを精神里親制度で支援しています

サンタ・クルス・ミッション学校法人50周年記念

SCMSI代表 マリア・L.ガンダム



サンタ・クルス・ミッション学校法人50周年記念にチボリ国際里親の会の皆さまから祝い金をお送りくださりまして、心より感謝を申し上げます。50周年を開催するにあたり、大変に役立ちます。後日、報告と写真を送ります。チボリの子どもたちが各分野で専門の知識を身につけるための教育を支援して下さるチボリ国際里親の会の会員の皆さまに感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも、子どもたちの生活向上のお手伝いをよろしくお願いいたします。

最後にもう一度、皆さまへ「ほんとうにありがとうございました」と述べて、終わりの言葉にしたいと思います。

50周年記念は3日間にわたり下記のプログラムで行われました。

1日目 9月9日
パレード
聖体祝賀会
競技



2日目 9月10日
SCMSI関係者による
プレゼンテーション
同窓生の集い

3日目 9月11日
光のパレード、花火
賛歌、マス・ダンス
プレゼンテーション、授与式



寄付金10万円の報告

サンタ・クルス・ミッション学校法人50周年記念祝賀会に、チボリ国際里親の会から目録とともに10万円を寄付しました。現地より、寄付金を祝賀会の費用の約3分の2に充当できたと感謝の報告がありました。（P2理事会報告をご覧ください。）



理事会報告

2011年10月6日(木)事務局にて、南会長、鬼村副会長、小林理事、河原理事、大須賀理事と事務局の関根と向山が出席のもと理事会が開催されました。事務局より、下記の報告がありました。

①半期会費収入計500万円

(昨年度との比較は100万円減)

新入会員： 0 退 会： 29
正 会 員： 595 賛助会員： 109

②9月初めにSCMSIが今年創立50周年を迎えました。行事が行われると報告が届きました。10万円の祝い金を送ることが理事会で決まりました。祝い金の使途についての報告書、里子のインタビュー、写真などを送付するように現地に依頼しました。チボリニュース11月号に掲載予定です。

③東日本大震災の義援金が11万7千円集まり、送金先について話し合われました。子どもたちの命を守る活動をしている「子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク」に送金することが決まりました。

④今年のクリスマス寄付は予算通り15万円(昨年より5万円減)を12月初めに送金します。

⑤バザーが3カ所で開催されます。

続いて、以下の項目について協議されました。

1. 支援契約終了後の具体策について

これから一年をかけて理事会と一緒に具体策を協議していく準備委員会に参加して下さる方を募集しましたが、どなたからも参加申し出がありませんでした。したがって、関東地方在住の元理事と支部長の方にご協力をお願いすることが決まりました。会員の一人ひとりの気持ちを汲み上げるアンケート内容などについて、11月15日(火)13時より台東区いきいきプラザにて第1回準備委員会が開催されることになりました。

各理事は、事前にアンケート素案を作成して、参加することになりました。

2. 現地訪問について

会員から「チボリ訪問の予定は？」という声も届きます。外務省の渡航情報によると、未だに「渡航の是非を検討してください」とある中で、会として訪問団を組むことは当面できないが、有志による訪問ならどうだろうか話し合われました。有志で行くことに理事会で承認があれば、来年の3月のSCMSIの卒業式に合わせて現地訪問を有志の形で訪問することを検討しても良いのではとなりました。11月号のチボリニュースで案内し、参加したい方があれば訪問する方向で進めることになりました。有志の代表を河原理事が引き受けて下さいました。

ティナラク織マエダバッグ

大きさ
幅：31cm
高さ：23cm

価格
3,500円
+送料



ご希望の方は事務局までご連絡ください。
数に限りがあります。
在庫切れの場合はご了承ください。

プレゼントに
いかがですか?

クリスマスカード

ティナラク織端切れをあしらったミンダナオ修道院のカードです。
様々な模様のカードのため、写真と異なることがあります。

1セット(3枚入り)
600円+送料70円
(送料は10セットまで
1回の送付につき70円)



「2013年(H25)あり方委員会」

日時：2011年11月15日(火) 午後1時より

場所：台東複合施設 いきいきプラザ

出席：南(会長)、小林(理事)、河原(理事)、大須賀(理事)、石渡(元副会長)、
山内(神奈川支部長)、山崎(元理事)、関根・前田・向山(事務局)

南会長からこの会の発足の経緯の説明があり、南会長が進行役となりました。

来年2月号のチボリニュースにアンケートを掲載し、結果を5月号のチボリニュースに載せ、総会で協議します。

支援契約の終了であり、支援終了ではないことを確認しました。

下記について協議しました。

1. 委員会の名称について

- ①H25年あり方委員会
- ②会のあり方委員会
- ③2013年(H25)あり方委員会
- ④JOFPAのあり方委員会

この委員会はアンケートを作成し、最終目的、主旨が入っている名称が好ましいので、多数決で③「2013年(H25)あり方委員会」に決定しました。

2. 支援終了後の具体策について

各理事からアンケート(案)を作成した経緯の説明がありました。

- *回答は責任感が生じるので記名式にしたがほうが良い。
- *この会を継続する場合、現地の窓口が問題である。
- *支援内容はまだまだあるかもしれない。
- *子どもたちの支援はまだまだ必要と感じている。

*アンケートはシンプルで、回答しやすい質問にする。

*返信はハガキを利用し、数字と○印だけを記入。
*会の名称を「ミンダナオ山岳民族の会」(例)等と変えて、チボリ族だけに限らない支援の方法があるのではないかと。

*支援契約終了にともない、SCMSIへのJOFPA支援がなくなると、現在の小学校の運営が出来なくなり、学校閉鎖や教員が失業することも懸念される。

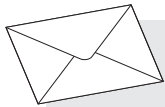
3. アンケートの内容について

会の方向性を示した上で、アンケートを作成することが大事。会の活動の夢や希望が見えるような未来像を示すことも大切で、下記の事項を含めて作成する。(担当：河原理事)

- ①JOFPAの歩み・今までの経緯
- ②回答の判断材料として、今後の会のあり方、現地の要望、SCMSI以外の支援、JOFPAの今後の組織など

4. その他

- (1)「2013年(H25)あり方委員会」出席の交通費について
規定に従って支給する。
- (2) 次回の「2013年(H25)あり方委員会」は1月27日(金)午後1時から事務局にて開催。



ミンダナオ国立大学3年
フェルマー・ロイ・S・アダム

親愛なるお母さん

こんにちは!

フィリピンは今、雨季です。国営テレビによると、ルソン島やビサヤス島地方は連続して熱帯性の暴風雨に襲われました。“カバヤン台風”によってもたらされたものです。幸運にも私たちの地方は、少し曇った程度で問題はありませんでした。日本では今日も良い天気であることを祈っています。お母さんも元気でお過ごしのことと思います。私のほうも、神さまの恵みによって元気にやっています。

今月は、論文に取り組み、少しやっかいな作業を頑張っていて、眠れない夜を過ごしています。私はクラス50名の中で論文を最初に発表します。

合格するように祈ってください。現在は試験の準備と今学期のやるべき課題の完成に努めています。ところで、私は成績がふるわない生徒を応援する手助けをしています。通信制の地域教育のボランティア教員に選ばれ、意思伝達、算数などの学業を向上させる手助けをします。

大学の親睦パーティがあり、私たちの服装の基調は現代フィリピンの服装か民族衣装です。私はティナラク・チボリ・ロイヤルスーツを着るつもりです。将来の指導教官ともっとよく知り合いになれる機会だと思っています。

私の学業に対して変わりなく支援して下さることにもう一度深く感謝いたします。お母さんのはげましで、高等教育に進めました。お母さんのことが大好きです。

会員のひろば

川口八重子（神奈川県）

毎日ご多忙な事と存じますが早速ご連絡いただきありがとうございます。今から事務局に伺うのをとても楽しみに致しております。昨年もティナラク織製品を求めましたが、毎日私の背中の中の友達でいますので、少し日焼けてまいりました。私の予定では11月16日にお伺いいたします。お目にかかれば幸いです。お礼まで。

昨年、横浜高島屋で民芸品（リュック）を買ってくださったお客様です。今年も来て下さるとのこと。

小島綾子（滋賀県）

チボリニュースで皆さまのあたたかい支援にいつも心打たれます。今までのたゆまぬご努力で多くの子どもたちがどれだけ幸せになり、勉強できたでしょう。できますならことなら、この会がいつまでも続きますようにと願います。

鈴木静代（静岡県）

いつもお世話になります。子どもの成長は楽しみです。思いやりがあり感動することが多い子どもに育ててほしいですね。

柏木未知子（埼玉県）

今後の方向については、私はよくわかりませんが、何らかの形で支援を続けていく気持ちはあります。

奥川尚子（岡山県）

高校生の英語がうまくて楽しみです。

福寿恵美（兵庫県）

老体になりつつ農業をしています。少しずつしか前へ進めないのはしかたありません。チボリにはまだまだ応援したいですね。

福岡弥恵子（兵庫県）

チボリの子どもの一人でも多く学校に行けるように、平成元年（1989年）から参加させていただきました。

私は支援といっても会費を送るだけで、事務局の方のご苦勞を思うと頭が下がります。

里子からの手紙を見てうれしく思っていました。平成25年までと期限があるのは寂しく感じます。

しかし、最後まで続けたいと考えていますので、よろしくお願い致します。

橋本あき応（千葉県）

早いものでもうクリスマスの季節がやってきました。チボリの子どもの元気でありまよう祈ります。元氣は宝です。



文化の日 バザーに参加して

11月3日文化の日、今や恒例となったむさしのルーテル教会のバザーに今年も参加。「去年買ったウエストポーチに紐をつけてポシェットとして使っています」、「前に小銭入れを買ってとても気に入っているので、今年はバッグを買いに来ました！」などなど、ティナラク織製品を買いに来てくださいる顔なじみの方が増え、楽しいひと時を過ごすことができました。



ティナラク織製品を愛用している久保伸子さん

今年は国内で未曾有の災害が続き、また経済不況の昨今、海外への支援には関心が少なくなっているのではと心配していました。なので、売上は期待できないだろうなあと考えての参加でしたが、教会メンバーの方などの



左：教会ボランティアの赤木めぐみさん

ご協力もあり、予想以上の売り上げになりました。

ルーテル教会の大柴牧師に「このような活動は長く続けることが大切ですね。がんばってください！」と激励を受けました。元会員2人の方も手伝いに来てくださり、「ああ、今年も参加してよかった！」と思うとともに、これからも会の活動が続く限り、参加していきたいと思いました。

（事務局 関根）

JOFPA支援の成果と今後への提言

神奈川県 山崎登美子

お電話での原稿依頼に二つ返事でお引き受けした後不安になりました。私が植林や教科書事業などのプロジェクト担当としてSCMSIとかかわったのは10年ほど前のこと。今も毎年レイクセブを訪ねても、立ち寄るのはチボリ女性の組合COWHEDだけです。小さな窓から垣間見た現状と提言としてお読みください。

10月初め、COWHEDのジェマさんから、セントポール修道会(SPC)のシスターたちが30年間の奉仕活動を終え、レイクセブを引き上げることになりました。お別れ会にはたくさんのチボリの人々が集まったというメールをいただきました。

SPCは、マーベル教区のチボリ民族への宣教活動サンタクルスミッション(SCM)のうち、主に住民の健康部門を受け持っていました。COWHED設立など女性の自立にも貢献されたSPCのレイクセブ撤退は、現地が自立した一つの象徴といえるでしょう。SCMのクリニックがなくなっても、町立病院が貧しい患者対応もしてくれるようになったと聞きました。教育を受けたチボリ民族が、町長、議員、職員として行政を担い、貧しいチボリ住民のための政策を実施できるようになったということでしょう！



水汲みをしている女の子



焚き木拾いをしている二人の男の子

また、SPCが担っていた幼児の給食事業、縫製研修などはCOWHED(140人のチボリの女性組織)が引き継ぎました。この組合は、2年前ILO(国際労働機関)の支援で必要な人々に生活向上を図るための融資をする事業を開始し、乗合バイク運転手、民芸品の手芸生産者等が低利で小規模資金を借りることができるようになり、子どもの教育費などとして収入向上が図られています。

この事業を担うCOWHED組合員や返済計画を作成する借り手の住民は少なくとも小学校、多くはハイスクール以上の修了者だからできる事業です。これは、JOFPの教育支援の成果です。

一方で、COWHED組合員の母親たちからは、奨学金があればカレッジ中退を避けられたのにと高等教育支援の拡充を望む声をよく聞きました。公立に移管された小学校を訪ねた時は、3年期限のNGO給食支援事業が終了した途端に休学者が増えたと嘆く先生に出会いました。未就学児童は多いですかと現地の人に聞いた時、山にはね…山々を指さした住民もいました。

SCMSIの学校運営を支える契約が終了しても、カレッジ奨学金の拡充、お弁当も持参できない貧しい子どもの救済など、教育支援の必要性はまだあります。これに答える事業企画には、現地の状況を正しく把握する必要があり、実施には信頼できる複数の現地パートナーを持つことが重要なことと思っています。

(山崎さんは「NPO法人ビラーン医療と自立を支える会」の代表でもいらっしゃいます)

事務局からのおたより

■東日本大震災義援金を送金

皆さまのご協力で11万7千円の寄付が集まりました。義援金の第1回目は、現地被災者の方々にすぐに役立ててもらえるところに送金をしました。今回は子どもたちの命を守るための活動をしている「子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク」に10月17日付けで送金しました。(送金先については10月6日の理事会で決定) 詳しい活動については下記をご覧ください。

<http://kodomofukushima.net/>

■里子の成長記録

チボリから里子のバイオデータ(成長記録)が届きました。里親の方には、ニュースに同封しましたのでご確認ください。また、一部届いていない里子もあり、現地へ問い合わせていますので、少しお待ちください。

■どうぞご利用ください。

里親から里子へ送るクリスマスカードの書き方例と宛名ラベルも同封いたしました。子どもたちのメッセージにお使いください。

■バザーのお知らせ

★東京YWCAお茶の水バザー
日時：12月3日(土) 13時から
会場：東京YWCA会館(ロビー)
JR「御茶ノ水」徒歩5分
会場にてお手伝いして下さる方を募集しています!



■クリスマス寄付送金

子どもたちにとって楽しいクリスマスがやってきます。チボリ国際里親の会から現地に送る寄付金は昨年まで20万円でしたが、今年の予算は15万円に減少になりました。会員の皆さまにご寄付をよろしくお願ひしたいと思います。



■訂正とお詫び

チボリニュース276号でシスター松田のお名前が「翡」となっており、正しくは「翠」でした。訂正とお詫びを申し上げます。

■チボリ訪問できるかな?

会員の方から「チボリ訪問の予定はないのでしょうか?」とお問い合わせがあり、理事会で検討されました。

外務省の渡航情報によりますと未だ「渡航の是非を検討して下さい」となっていますので、会として以前のような訪問団を組むことは当面できませんが、有志による現地訪問なら可能なのではということになりました。ただし、あくまでも個人の責任になります。

現地訪問を希望される方は、事務局までご連絡ください。企画の詳細はこれからはになります。

■事務局の年末年始休み

12月28日(水)から1月5日(木)まで休みになり、1月6日から通常通り(10時から3時30分まで)になります。

JOFPAへのご支援・ご協力ありがとうございます

敬称略(2011年8月4日~2011年11月3日)

■新入会員 (< >内はご紹介者又は入会のきっかけ)
なし

■ご寄付者(ご寄付・随時ご協力の賛助費についてお名前を紹介させていただきます。)
(大震災義援金へのご寄付含む)

安藤美和子 犬島浩一 井上恵一 大須賀育代 小野洋子 川口八重子 坂詰美代子 下向井幸江 杉山幸子
高井和子 平賀貴久子 平山妙子 福田昌佳 堀澤千代 永見孝二 永見満子 前田佳代子 増山富美子
松谷桂次 三好恵美子 山田伊都子 匿名3名

■切手(未使用、使用済含む) その他

石原修 小島綾子 小田嶋由紀子 笠井タイ子 近藤正子 坂詰美代子 佐藤亜矢 佐藤いね子 佐野淑子
須田晃 芹田美津子 敦賀谷孝 堀井照重 平由美 長澤ヤス子 植岡トキ子 松田より子 松本弘子
三好恵美子 村木正次 柳谷ヤエ 山崎静子 渡辺玲子 匿名1名

■ボランティア(会報、バザー、翻訳、その他)

安藤美和子 大須賀三歡 恩田和美 佐伯三郎
坂詰美代子 武田とよ子 長崎すみ子 長島信夫
富江崇 増田憲治 吉永洋子 渡辺洋子

■編集後記(大須賀)

理事会があり、今後の行き方の論議がありました。本当にチボリ地方の子どもたちの幸せを願ひたいと思います。

お名前掲載を希望されない方は、お手数ですがその旨事務局までご連絡をお願いいたします。

